



- 01 磐農生1日就農インターンシップ開催！
- 02 各種取組の実績（7～8月分）
- 06 お知らせ
 - 06 いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果
 - 06 いわき地方の出荷制限等品目
 - 07 「いわきの特産品を味わおう！フォトコンテスト」開催！
 - 07 「農山村の魅力を発見！体験ツアーin いわき田人・遠野」参加学生募集中！
 - 08 高校生発！いわきテイクアウトメニューレシピ紹介
 - 09 いわき自慢の6次化商品をご紹介

磐農生1日就農インターンシップ開催！

8月5日(金)

当所では、将来を担う新規就農者を増やす取組の一環として、就農インターンシップ研修（令和4年度教育機関と連携した就農促進事業）を開催しました。

研修では県立磐城農業高等学校の生徒7名（1年生：5人、2年生：2人）が、トマトの病害管理作業、イチゴの苗管理作業、ピーマンの収穫作業などに挑戦しました。知らない大人と一緒に作業しているからか、最初はどこかぎこちない様子の生徒たちでしたが、慣れてからは、笑い声も交えながら作業に取り組んでいました。研修は、株式会社 JR とまとランド（トマト）、株式会社アグリパークいわき（イチゴ）、有限会社ベストクリーン（ピーマン・ネギ）にご協力いただきました。



▲ トマトの病害管理の説明を受ける1年生



▲ イチゴの苗の管理を手伝う2年生



▲ ピーマンの収穫方法を教わる1年生

そしてなんと！ピーマンの収穫作業を行った生徒から、「お土産に貰ったピーマンを使って、ピーマンの肉詰めを作りました」と後日連絡があり、写真も送ってくれました！自分で収穫したピーマンで作った料理は、美味しいこと間違いなしですね。

今回の就農インターンシップ研修の様子については、県農林水産部の「1400のネタばらし」でも取り上げますので、ぜひ YouTube で『福島県農林水産部』と検索してご覧ください！！（投稿は9月上旬予定）



▲ 生徒手作りのピーマンの肉詰め



「サンシャインいわき梨」の選果がスタート！

8月16日(火)

小川地区にある JA 福島さくらいわき梨選果場の操業開始式が開催され、「サンシャインいわき梨」の旬の訪れを PR するとともに、「幸水」の市場への出荷が始まりました。

いわき地方は、春先暖かくなるのが早いことから、県内で最も早い時期に日本なしが出荷される産地であり、「サンシャインいわき梨」のブランドとして市場に出荷されています。

今年度は梅雨が大変短かったにもかかわらず雨が多く、梅雨明け以降は高温・乾燥条件となるなど、農作物には厳しい天候が続きましたが、生産者の徹底した栽培管理により病害虫の発生も少なく抑えられ、良質な果実に仕上がりました。



▲ 選果場操業開始式の様子

いわき梨選果場で選果が行われる品種は「幸水」「豊水」「涼^{りょうほう}豊」「新^{にいたか}高」の4品種です。

「幸水」は8月いっぱい、9月からは「豊水」、福島県オリジナル品種の「涼豊」、10月からは「新高」と出荷が続きます。

いわきの秋の味覚「サンシャインいわき梨」を是非ご堪能ください。

(農業振興普及部)

漁業調査指導船「拓^{たくすい}水」の就航式

8月6日(土)

県の漁業調査指導船「拓水」の完成を記念し、松川浦漁港(相馬市原釜地区)で就航式が開催されました。テープカットには、内堀知事、来賓の方々、未来の漁業を担う若者を代表して福島県漁業協同組合青壮年部連絡協議会の高橋一泰会長が参加し、盛大なオープニングを迎えることができました。

本船は、総トン数37トンと、先代の漁業調査船よりも大きくなり、沿岸域におけるヒラメ・カレイ類などの水産資源や漁場環境等の調査に必要な最新の装備を搭載したことで、調査をより安全かつ効率的にできるようになりました。

今後とも、本船による調査結果を最大限に活用しながら、本県水産業の復興に全力を尽くしてまいります。



▲ 調査指導船「拓水」内覧の様子

(水産事務所)



令和4年度農林水産産業振興計画いわき地方意見交換会を実施 8月3日(水)

県農林水産部では、時代に即した農林水産業・農山漁村の振興施策を進めていくため、県が行う長期的展望に立った施策の基本的な方向性を示すものとして、昨年12月に新たな「農林水産産業振興計画」を策定し、今年度から計画がスタートしました。

そこで、本計画を周知するとともに、各地方の課題等を把握して次年度の施策に反映させるため、県内7地方で農林業者や関係団体との意見交換会を開催しています。

当所では、県いわき合同庁舎においていわき地方意見交換会を開催しました。はじめに、県から農林水産産業振興計画やいわき地方の振興方向について説明した後、いわき地方の農林業の課題や必要な取組等について、意見交換がなされました。出席者からは、それぞれの団体の取組や県への期待、担い手の確保・育成、食育等について、様々なご意見・ご提案がありました。



▲ 意見交換会の様子

いただいたご意見・ご提案を今後の農林業振興にいかし、本計画の基本目標である「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」を目指し、各種施策に取り組んでまいります。(企画部)

林業アカデミーふくしま 就業前長期研修インターンシップ 7月27日(水)~29日(金)

林業アカデミーふくしまでは、本県の林業の中核を担う現場技術者を育成するため、今年4月に県林業研究センター(郡山市安積町)内で就業前長期研修を開講しました。

長期研修では、「森林・林業に関する幅広い知識の習得」「森林施業技術の習得」「資格の取得」「インターンシップの実施」の4本を柱としたカリキュラムを構成しています。

第1回目のインターンシップでは、いわき市森林組合に研修生1名(池田結さん)を受け入れていただきました。短い期間でしたが、森林の境界測量とその成果の図化、木材加工施設の見学、間伐施行地での伐倒作業と、森林組合の業務を横断的に体験できる充実したメニューとなりました。

特に伐倒作業では、研修生が普段、シミュレーターによる模擬操作を行っているハーベスタの実機を操作し、森林組合職員の指導を受けながら、伐木から造材までを体験しました。

研修生は担当職員から「合格」との評価を受け、自信を持つことができたようです。現場の即戦力となれることを期待しています。(森林林業部)



▲ ハーベスタを操作する研修生



林業・木材製造業労働災害防止協会安全パトロール

7月28日(木)

いわき市田人町で作業中の国有林において、林業・木材製造業労働災害防止協会福島県支部、いわき労働基準監督署、磐城森林管理署と合同で、先山ゼロ災推進安全巡回として安全パトロールを行いました。

県内での林業の死傷災害については、令和3年には休業4日以上林業労働災害が34件発生し、そのうち2名が死亡しています。令和2年の統計では、全産業の労働災害発生は1,000人当たり2.3人ですが、林業に限ると1,000人当たり25.5人と全産業の10倍を超える状況となっています。

足場の悪い山中で伐採木等の重量物を取り扱うなど、林業の特殊な労働環境はありますが、安全作業のためのガイドラインなど、労働災害を防ぐ作業手順も確立されています。

今回は、14名の林業従事者に、安全な作業のチェックポイントと法令等の遵守の徹底を指導しました。参加者は、当事者として真剣に指導を受けていました。

当所では、今後も安全パトロールによる指導を定期的実施するなど、労働災害発生の防止に努めてまいります。

(森林林業部)



▲ 立木を伐倒し、作業のポイントを説明する安全指導員

新規就農者推進会議

7月27日(水)

県いわき合同庁舎でいわき地方新規就農担当者会議（以下、担当者会議）を開催し、「いわき地域新規就農者等推進会議（以下、推進会議）」の設置を決定しました。

いわき地域では、これまで新規就農者の支援体制として担当者会議を開催し、認定新規就農者の営農状況や今後の対応等について協議・共有してきましたが、今回から「福島県指導農業士会いわき支部」が加わり、推進会議として生まれ変わりました。指導農業士とこれまで以上に連携を深めることで、新規就農者の技術支援や地域コミュニティの形成など支援体制を強化してまいります。

推進会議は、市、いわき地域就農支援センター、農業委員会、JA福島さくら、指導農業士会いわき支部、農業振興公社、いわき地方振興局、いわき農林事務所の8組織で構成され、新規就農希望者の就農に係る相談（栽培技術、農地取得、移住、補助事業、販売等）を構成員が一体となり支援する組織です。新規就農を検討している方、興味がある方は、まずはいわき農林事務所農業振興普及部（TEL：0246-24-6162）へご相談ください。

(農業振興普及部)



▲ 新規就農担当者会議の様子



いわき農林事務所若手研修会 意見交換会

7月26日(火)

7月号でお伝えした、いわき農林事務所若手職員研修会。現地視察に続き、意見交換会を実施しました。

意見交換会には、若手職員と中堅職員の他、幹部職員も参加しました。若手職員からは、仕事上の不安・悩み、中堅職員や同じ若手職員への質問等、積極的に発言がありました。中堅職員や幹部職員からは、不安・悩みや質問に対して、これまでの経験を踏まえたアドバイスがありました。

働き方について学びつつ、これからの交流の足がかりとなる、有意義な時間となりました。(総務部)



▲ 意見交換会の様子。今後の交流が楽しみです！

今年もりんどうの出荷が始まりました

7月26日(火)

いわきりんどう生産部会の出荷検討会及び目揃い会が、JA福島さくら小川営農経済センターで4戸の農家とJA担当者、農林事務所が出席し開催されました。会議では、JAより昨年実績や集出荷スケジュールの説明があり、当所からは、当面の技術対策と、出荷に向けての水上げ方法、品質区分等注意事項を説明しました。その後、生産者が持ち寄った切り花で、収穫適期や品質区分の判断、出荷の際の注意点等について話し合い、市場出荷に向けての規格の確認をしました。



▲ りんどう目揃い会の様子

いわき市のりんどうは、生産者は少ないですが、良質の切り花が10月まで市内生花店や直売所に出回ります。当所では、今後とも中山間地域の振興作物として支援してまいります。(農業振興普及部)

なしジョイントV字トレリス栽培実証ほ場の現地検討会を開催

7月25日(月)

当所では、「いわき地域農業革新技术推進協議会」を設置し、関係機関・団体とともに農業の低コスト化、高収益化、作業の効率化・省力化に向けて、革新技术の実証、地域への普及を図っています。

令和2年度に設置した「なしのジョイントV字トレリス栽培導入による早期成園化及び省力化」の実証ほ場で、ジョイント栽培に関心のある生産者を集めて現地検討会を開催しました。これまでの活動経過や栽培管理の方法などを説明し、実証ほ場の生産者との意見交換を行いました。

当所では、なしジョイント栽培等の革新技术を地域へ定着させるべく、引き続き技術支援を行ってまいります。

(農業振興普及部)



▲ 現地検討会の様子

お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和4年7月分)

農林畜産物の検査結果

令和4年7月の農林畜産物モニタリング検査では、8品目8検体を検査し、全ての検体について放射性セシウムが基準値(100Bq/kg)を超えたものではありませんでした。内訳は(表1)のとおりです。

(表1) 品目と検体数

(企画部)

パレイショ1、ダイコン1、カボチャ1、ナス1、ピーマン1、小麦1、牛肉1、原乳1
--

海産魚介類の検査結果

令和4年7月の水産物モニタリング検査では、108検体の海産魚介類を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。(水産事務所)

いわき地方の出荷制限等品目

令和4年7月末現在、いわき地方の農林畜産物のうち、出荷制限等の対象となっている品目は(表2)のとおりです。

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。(企画部)

(表2) 農林畜産物の出荷制限等品目(令和4年7月末現在)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る) ^{※1} 、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ ^{※2}
	海産魚介類	クロソイ
出荷自粛	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

※1 わらび(栽培)で出荷・販売できるものは、安全性が確認されたほ場で生産されたものに限ります。(市内該当生産者15名のみ)

※2 野生きのこは、摂取も制限されています。

Topic

福島県天然記念物紹介 ～八坂神社の二本杉～

八坂神社の境内に寄り添って生えている「八坂神社の二本杉」。どちらも推定樹齢は600年。これほどの大木が2本並んで立っているのは珍しく、県の天然記念物や福島県緑の文化財に指定されています。

2本とも樹勢は良好で、幹や分かれた枝のたくましさは圧巻です。うっそうとした森の中、冒険気分で足を運んでみてはいかがでしょうか。

(所在地：いわき市遠野町遠野天王地内)

(企画部)

福島県緑の文化財とは？

県民に親しまれ愛されてきた名木や鎮守の森等の緑の財産を保護・保全し、かけがえのない貴重なみどりを引き継ぐものとして、知事が指定・登録したものです。



▲ 樹高はそれぞれ36m、32mに及ぶ。

「いわきの特産品を味わおう！フォトコンテスト」開催！

いわき産農林産物の魅力を消費者の皆さまに知っていただくため、SNS 等を活用したフォトコンテスト（「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン）を実施します。

■応募期間 令和4年8月17日（水）～11月11日（金）

■応募方法

〈Instagram または Facebook からの応募〉

- ① 当所公式 Instagram アカウント (@iwaki_nourin) または Facebook アカウント（福島県いわき農林事務所）をフォロー
- ② いわき産「梨」「トマト」「ネギ」「しいたけ」のいずれかを使った料理や加工品の写真を撮影（自分で作った料理、飲食店で食べた料理、6次化商品でもOK!）
- ③ ハッシュタグ「#いわき特産フォトコンテスト 2022」をつけて Instagram または Facebook に投稿（コメントには、味わった感想と対象の特産品であることが確認できる内容を含めてください。）



〈メールからの応募〉

コメントを記載したメールに写真を添付し、kikaku.af07@pref.fukushima.lg.jp 宛てに送信してください。（応募内容は公式アカウントで紹介します。）

- 賞品 所長賞（1名）：いわき産「福、笑い」新米4kg+6次化商品詰め合わせ（計5,000円相当）
- 次長賞（1名）：いわき産「福、笑い」新米2kg+6次化商品詰め合わせ（計3,000円相当）
- 参加特別賞（抽選で25名）：いわき産「福、笑い」新米2合+6次化商品（計1,500円相当）

■主催・お問い合わせ：福島県いわき農林事務所 企画部（TEL：0246-24-6197）

※その他、注意事項等については、当所 HP をご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/itakyan-photocon2022.html>

（企画部）

「農山村地域の魅力を発見！体験ツアーinいわき田人・遠野」参加学生募集中！

県内の学生を対象に、いわき市田人町・遠野町の人々との交流を通して、地域の魅力や課題に思いを巡らす1泊2日の体験ツアーを実施します。

- 日 時：令和4年10月1日（土）～2日（日）※1泊2日
- 対 象：県内の大学生（短期大学・高等専門学校（4年生以上）を含む）
- 参加費：3,000円
- 定 員：20名
- 内 容：農業体験、地域住民との交流会、紙漉き体験、古民家カフェでのランチ、BBQなど
※宿泊先：田人おふくろの宿
- 主 催：福島県いわき農林事務所
- 募集期限：令和4年9月16日（金）12:00まで
- お問合せ：株式会社いわき市民コミュニティ放送
TEL：0246-25-0762
- 応募フォーム：<https://forms.gle/KNd8fXdPF7sX7DrR6>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して実施します。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により変更となる場合があります。

詳細については、以下の URL をご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/r4-tt-boshu.html>

（企画部）



高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発 優秀レシピ紹介 vol.4

昨年度、地元の高中生と飲食店・スーパーがコラボして実施した「第2回高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発事業」。当事務所のホームページにレシピ集を公開中です！

今月はレシピ集から「ダイニングキッチン月海-Ruu-」おすすめの「ネギましましグラタン」をご紹介します！

ネギましましグラタン

四家 美咲さん

福島県立勿来高等学校 3年 (応募時)

調理時間:30分

食材費(2人分相当)1,000円



材料

- マカロニ80g
- ミニトマト4個
- ベーコン.....50g
- しめじ.....1/2株
- 長ねぎ.....1本半
- 粒マスタード.....適量
- とろけるチーズ(スライス).....1~1枚半
- オリーブオイル適量

【ホワイトソース】

- 薄力粉10g
- バター8g
- 牛乳100cc
- 塩0.8g
- こしょう少々
- 水50cc
- 固形コンソメ1個

作り方・手順

【ホワイトソース】

- ① 鍋にバターを溶かし、薄力粉を入れて焦がさないように弱火で炒める。
- ② 水を少しずつ加え、ダマにならないようにのばす。
- ③ 牛乳を少しずつ加え、塩・こしょう・固形コンソメで味を調える。
- ④ マカロニを記載通りの時間ゆでる。
- ⑤ ミニトマトは半分に、長ねぎは小口切りに、ベーコンは一口サイズに切り、しめじは小房にほぐす。
- ⑥ フライパンにオリーブオイルを熱し、ベーコンに焦げ目がつくまで炒める。
- ⑦ ⑥にしめじを加え、しんなりしてきたらミニトマトを加えてさっと炒める。
- ⑧ 粒マスタードで味を調える。
- ⑨ 大きめに切ったアルミホイルの上に④のマカロニと⑧の具材をのせて、③のホワイトソースをかけ、さらにたっぷりの長ねぎととろけるチーズをのせて包む。
- ⑩ グリルで様子を見ながら約8分焼いたら完成。

作品のPRポイント

いわき産の長ねぎ、ミニトマトを使ったグラタンです。長ねぎを薄く切って蒸し焼きにすることで、甘さを引き出しました。長ねぎが苦手な方でもおいしく食べることができますよ。

【レシピを参考に作ってみました！】

家にある材料で作ったので、マカロニ→じゃがいも、ベーコン→ソーセージで代用。

一般的に、グラタンには玉ネギを使うことが多いですが、長ネギにすることで和風テイストに。仕上がりに醤油をたらしてもよかったかな。ビールにも白ワインにも冷酒にも合うメニューとなりました。 野菜ソムリエプロ・K



レシピ集は
こちらから！



(企画部)





Topic

ヒラメ・アワビ種苗放流

7月11日(月)から20日(水)にかけて、いわき市沿岸の4地区(久之浜、四倉、沼之内~江名町、小名浜~勿来)に『ヒラメの稚魚』(概ね10cm)を約40万尾放流しました。また、7月26日(火)、27日(水)の2日間、いわき市沿岸の11地区(久之浜、四倉、沼之内、薄磯、豊間、江名、中之作、永崎、下神白、小浜、勿来)に『アワビの稚貝』(概ね25mm)を約6万個放流しました。

ヒラメの稚魚は2~3年ほど、アワビの稚貝は4~5年ほどで水揚げ可能な大きさ(ヒラメ全長40cm以上、アワビ殻長9.5cm以上)に成長します。

海の生き物は限りある資源であり、無秩序に獲るだけでは減ってしまう一方です。県では、各地区の漁業者の協力を得て、ヒラメ・アワビの種苗放流を毎年継続的に実施し、「つくり育てる漁業(栽培漁業)」に取り組んでいます。(水産事務所)



▲ 放流されるヒラメの稚魚



▲ アワビの稚貝放流の様子

こだわりと美味しさがつまった
いわき自慢の6次化商品をご紹介します

四倉町の株式会社ワンダーファームでは、いわき市産「サンシャイントマト」を使用した様々な商品を開発し、販売しています。「まるごととまとスープ」は、いわき市産のトマトを使用したトマトジュースをフリーズドライし、粉末スープにした商品です。トマトのうまみがギュッと詰まったスープは、リコピンなどの栄養がたっぷり。冷たい水にもよく溶けるので、暑い夏の塩分補給にオススメです。さらに、トーストやパスタ、ピラフなどの料理にも活用できるので、調味料としてまとめ買いする方もいらっしゃるかと。皆さんも、自分だけのオリジナルレシピを考案してみたいかがでしょう。「まるごととまとスープ」は、ワンダーファーム内の直売所「森のマルシェ」、市内のマルト(平尼子店・湯本店・岡小名店)、道の駅よつくら港、いわき・ら・ら・ミュウなどでお買い求めいただけます。ぜひご賞味ください!

サンシャイントマトってなに?

サンシャイントマト出荷協議会に所属する浜通りの生産者が出荷するブランドトマト。環境制御システムにより、トマトの養液栽培に理想的な環境を実現しており、1年間通して甘くてみずみずしい味わいが特徴。



まるごととまとスープ(1包あたり5g)
(右)12袋入り 864円(税込)
(左)25袋入り 1,188円(税込)



(株)ワンダーファーム 販売課
マネージャー 寺嶋大輔さん

販売・お問い合わせ

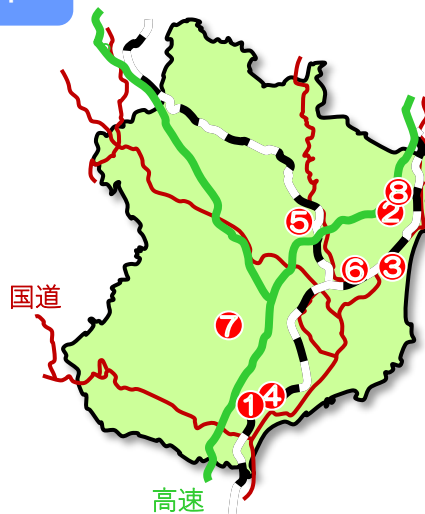
株式会社ワンダーファーム

📍いわき市四倉町中島字広町1 ☎0246-85-5105

今月号に掲載した場所はこちら！

- ① 福島県立磐城農業高等学校 (p.1)
植田町小名田 60
- ② JR とまとランド (p.1)
四倉町中島助五郎 1-1
- ③ アグリパークいわき (p.1)
平下神谷南内記 25
- ④ (有) ベストクリーン (p.1)
佐糠町 1丁目 1-8
- ⑤ JA 福島さくら いわき梨選果場 (p.2)
小川町西小川下蕪田 16
- ⑥ いわき市森林組合 (p.3)
平正内町 107-3
- ⑦ 八坂神社の二本杉 (p.6)
遠野町入遠野天王地内
- ⑧ (株) ワンダーファーム (p.9)
四倉町中島広町 1

いわき市
MAP

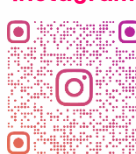


【いわき農林事務所公式 Instagram・Facebook 紹介】

当所では、Instagram・Facebook を活用して、いわき地域の農林水産業に関する旬な情報をお届けしています。是非 QR コードからフォローをお願いします。

また、8月17日から11月11日まで、「いわきの特産品を味わおう！フォトコンテスト」を開催中です。詳しくは P7 をチェック！ご応募お待ちしております！（企画部）

Instagram



IWAKI-NOURIN

Facebook



あとがき

今月は、県内各地でお祭りや花火大会が開催されましたが、皆さんは参加されましたか？私は自宅で線香花火を楽しみました！夏ももうすぐ終わりですね…。

さて、今月号は、磐農生1日就農インターンシップの様子をお届け！私も取材のため同行しましたが、暑い中の作業はとて大変そうでした。美味しい野菜が食べられるのは、頑張ってくれた農家さんのおかげだと改めて感じました。インターンシップの様子は、今後 YouTube でも動画を公開する予定です。楽しみにお待ちください♪

(S.E.)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース